

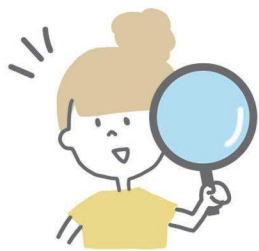
ご存知ですか?

特集

声と点字の 広報せと

☎ シティプロモーション課 ☎ 88・2530

活字による読書が困難な方のために、ボランティア団体の皆さんによって「広報せと」は音訳や点訳され、必要とされる方に届けられています。今回は、その作成現場をご紹介します。



私たちが音訳しています



瀬戸声のボランティアの会

会員数は26人。毎号の広報せと音訳を37年行っています。議会だより、社協だよりやリスナーさんのリクエストとして、新聞、俳句、くらしのメモリ、本の音訳などの活動もしています。



こんなところを工夫しています



- ・アクセントの位置や声のトーンなど、常に気を付けながら収録しています。
- ・始めと終わりにあいさつを収録したり、音楽を流して聞きやすくしています。
- ・裏表紙の「休日急病診療予定表」や「ごみ収集予定日」はニーズが高いため、一番初めに収録をするなど、構成にも気を付けています。

お話を聞きました

ボランティアを始めたきっかけは「たまたま」でした。定年後、「何かやろうかな」と思っていたところ、音訳ボランティアの講座があることを偶然知り、軽い気持ちで参加しました。

活動をしていて感じることは、仲間と一緒に活動すること自体が「楽しい」ということ。アクセントの位置や声のトーン、写真の説明の仕方など、難しいことはたくさんありますが、知らなかったことを知れることも、とても楽しいです。少しでも役に立てればと思い活動しています。

また、リスナーの方たちから「聞きやすかったよ」と言ってもらえると、「やっていてよかった」と思います。それぞれの声色の違いなども楽しんでいただきながら、少しでも多くの方に聞いていただくと嬉しいです。



いとう よしのり
伊藤 善規さん (活動歴：5年目)

音訳広報ができるまで

1 打ち合わせ



毎号7~8人で作成しており、各ページの担当を決め、アクセントや読み方などを確認しています。



2 収録



原稿をもとに1人ずつ収録していきます。表や写真なども、聞く方にわかりやすいよう、考えながら収録しています。



3 校正作業



収録後、自分の音声データをパソコンに移し、自分で校正を行う「自己校正」と、再度違う人が確認をする「最終校正」との、2回校正を行います。

4 CDにおとし、最終確認



それぞれのデータを1号分に繋げ、CDにおとします。その後CDを全て聞き、きちんと録音されているかを確認します。

5 完成



完成したCDやデータを、リスナーの方や市役所へ届けます。毎号2日間ほどで完成させています。

声の広報をお聞きになる場合は市ホームページ「市政情報」→「広報・広聴」→「広報せと」から、各号を選択し、お聞きください。



私たちが点訳しています

瀬戸点訳ボランティア ふくらの会

会員数は16人。広報せとの点訳を約20年行っています。そのほか、リクエスト本の点訳などの活動をしています。また、小学生から高校生に点字を教える「福祉実践教室」も行っています。



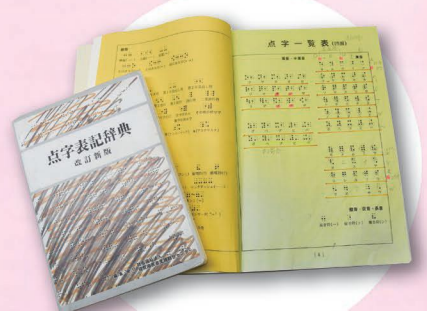
こんなところを工夫しています

- 全てひらがなで文字を打つので、スペースの位置などを常に気をつけ、意味が変わらないよう注意しながら打っています。
- 表などを点字にする際は、分かりやすい文章に直して打っています。
- 校正の際は声に出しながら読み、文章の意味を確認しながら作成しています。



点訳広報ができるまで

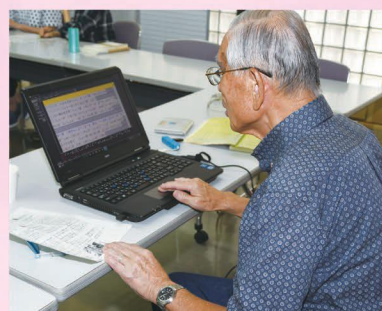
1 打ち合わせ



だいたい毎号10人前後で作成します。各ページの担当者決めなどを行います。



2 点字を打つ



点字ソフトを使い、原稿をもとに全てひらがなで点字を打っていきます。表なども文章におこして打ちます。



シールの貼ってある6つのキーを使って、点字を打ちます。

3 校正作業

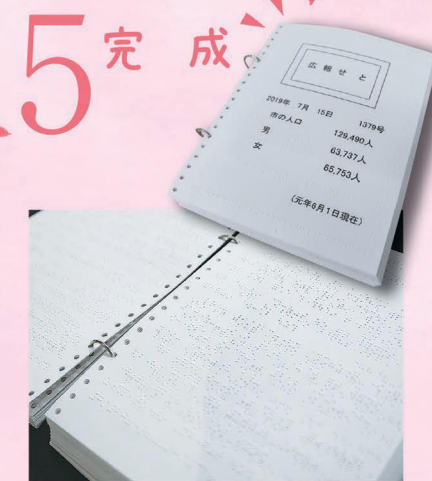


2人で読み合わせを行い、文字の打ち間違いなどがなければ校正をします。この作業を2回行い、しっかり確認していきます。

CHECK!



校正の終わった原稿を1号分に繋げ、点字印刷機で印刷を行います。



できあがった広報を希望者や市役所へ届けます。毎号2日間ほどで完成させています。

点訳広報は市政情報コーナー（市役所1階）、図書館に置かれており、どなたでもご覧いただけます。点訳広報の送付をご希望の方は、シティプロモーション課（☎88・2530）へお問い合わせください。



お話を聞きました



定年を迎え「何かボランティアをやろう」と思っていたところ、偶然「ふくらの会」のことを知りました。もちろん点字に触れ合う機会なんて今までなかったので、初めは全くわかりませんでした。しかし活動する中で徐々に覚えていきましたので、今は特に苦になることはありません。何事でも勉強することは良いことなので、「点字」というものを知れて良かったと思っています。

また、「福祉実践教室」で小学生から高校生までの子どもたちと交流しながら点字を教えることも、とても楽しい活動の一つです。

現在お届けしている方以外にも、まだ点字を必要とされている方がみえるかもしれないので、この活動ができるだけ多くの人に知っていただくと嬉しいです。



わかすぎ ちから 若杉 力さん（活動歴：15年）

一緒にボランティア活動しませんか

「瀬戸声のボランティアの会」「瀬戸点訳ボランティア ふくらの会」では、随時会員を募集しています。くわしくは、社会福祉協議会へお問い合わせください。 ☎ 社会福祉協議会 ☎84・2011

ほかにも、市内ではさまざまな分野でボランティア団体が活動しています。興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。